

# 日本個性化教育学会 第16回全国大会

テーマ『多様な子どもの多様なニーズに応える教育の構想』

第12期中央教育審議会は、第11期に設置された「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会」の設置を継続するとともに、新たに「デジタル学習基盤特別委員会」を設置しました。

ICTを学校における学習の基盤として確立することにより、多様な子どもの多様なニーズに応える教育へと、さらに一步を踏み出す動きと言えるでしょう。

今回の大会では、このような動向を踏まえ、個別最適な学びのさまざまな展開において、一人ひとりの子どものニーズをとらえ、その子ならではの学びの文脈を大切にすることで、教科等の本質に迫る深い学びを提供するにはどうすればよいのか、海外の事例などにも学びつつ、みなさまとともに考えていきたいと思っております。

●日時：2023年8月5日（土）、6日（日）

●実施形態：Zoomシステムによるオンラインでの開催

●日程：

第1日目（8月5日）：

9:45～10:00 開会行事

10:00～11:10 講演「学習指導要領について－『これまで』と『これから』－」  
石田有記（文部科学省初等中等教育局）

11:10～11:20 休憩

11:20～12:30 講演「一人ひとりの違いを前提とするフィンランドの教育」  
伏木久始（信州大学）

12:30～13:30 昼食・休憩

13:30～16:30 分科会1・2、自由研究発表1

○分科会1「個別最適な学びを通して教科の本質に届く」

コーディネータ：藤本勇二（武庫川女子大学）

話題提供：宗實直樹（関西学院初等部）

中西徳久（西宮市立甲東小学校）他

○分科会2「子どもの学びの文脈を大切にする教師

－子どもと共に創る授業の構想と展開－

コーディネータ：渡部力（東北文化学園大学）

話題提供：佐藤みちる（宮城教育大学附属幼稚園）

中元千春（宮城教育大学附属小学校）

鈴木美佐緒（宮城教育大学）

○自由研究発表1

16:45～17:45 理事会（各地方学会から代表者の参加をお願いします）

**第2日目（8月6日）：**

9:30～12:30 分科会3・4、自由研究発表2

○分科会3「子どもをみとり、ニーズに応える单元内自由進度学習」

コーディネータ：佐野亮子（東京学芸大学）

話題提供：梶原捷聖（宇美町立桜原小学校）

村松央道（御前崎市立白羽小学校）

横山稔史（東浦町立北部中学校）

○分科会4「小学校英語科の授業における子どもの学び—教科化とその展望—」

コーディネータ：加藤幸次（上智大学名誉教授）

伊藤静香（帝京平成大学）

話題提供：片岡彩（上智大学大学院）

伊藤静香（帝京平成大学）他

○自由研究発表2

12:30～13:30 昼食・休憩

13:30～16:30 シンポジウム「多様な子どもの多様なニーズに応える教育の構想」

コーディネータ：奈須正裕（上智大学）

シンポジスト：高橋純（東京学芸大学）

涌井恵（白百合女子大学）

加固希支男（東京学芸大学附属小金井小学校）

16:30～16:40 閉会行事

16:40～17:00 会務総会

**●参加申込と参加費：**

オンラインでの開催に伴い、昨年と同様、参加申込並びに参加費の支払いは、すべてインターネットで行います。

6月1日（木）から7月31日（月）の間に、学会HP <https://koseika.com/> からお申込ください。

手続き確認後、8月3日（木）までに、登録いただいたメールに参加に必要な Zoom のリンク、大会要項のダウンロード等の情報をお送りします。

大会参加費は、会員 2,000 円 非会員 3,500 円（いずれも、システム利用料 220 円を含む）です。

なお、同じサイトから、期間限定で、大会の参加の有無にかかわらず、年会費の支払いもできます。是非、この機会に便利なインターネットでのお支払いをご利用下さい。